

# Z 会進学教室 葛西通信 5 月号

葛西教室に通う本科生の皆さんは、以下の四点を心がけるようにしましょう。

- 1 進学塾に通う中学生としての自覚を持つこと。
- 2 信頼の土台となるあいさつをきちんとすること。
- 3 書くことを大切にし、ノートをしっかりとること。
- 4 自習室を上手に利用し、自分で考えてもわからないことは遠慮なく先生に質問すること。

葛西教室より

葛西教室の声をお伝えします。

## 『鉄』の世界

数学科 横山美浩先生

世の中の大半の人は、鉄道は移動のための手段だと思っているようであるが、そんなつまらない考えは捨ててしまったほうが良い。日常の中に非日常を見つける、人生を楽しむ秘訣である。

鉄道趣味の世界は広い。何かと世間を騒がす撮り鉄や、乗り鉄、時刻表鉄、車両鉄・模型鉄、葬式鉄、規則鉄、史鉄など、様々なジャンルがあり、単に鉄道趣味と一言では語れない。面白いのが、同じ鉄道好きでもジャンルが違つと話が合わなかったり、同じジャンルでも微妙に範疇が違つたりと実に多種多様である。例えば、友人に空想鉄がいるがいまいちその面白さがわからない。「この駅の配線をこう変えれば快速運転ができ混雑が緩和できる」などと熱心に言われても、君は鉄道会社の人間じゃないだろ、とってしまいどうにも共感できない。ちなみにその彼は、各駅の乗降人数の規則性を発見して喜んでしたが、それもイマイチどうでもいい。鉄オタというのは、大抵一つのジャンルにとどまらず複数掛け持ちしている。特に乗り鉄は、撮りに行くために乗る、時刻表を使うために乗る、など各分野との親和性は高いと思われる。事実、私は、乗り鉄・時刻表鉄・車両鉄・史鉄である。乗り鉄中に写真を撮ることはあるが、どちらかという思い出を撮ると言った感じなので撮り鉄は自分の中には含まれない。また、鉄オタという絵に描いたようなオタクを想像するかもしれないが、私はもっと※1 シュツとしたタイプの鉄オタであるから、現実世界では※2 飲み屋ぐらいでしか知識の披露はしない。したがって今回の葛西通信は特別であるから心して読んでいただきたいと思う。さて、披露するからには知っていることを得意げに語りたい。あいにく得意気に語ることは※3 職業柄慣れたものなので問題はないが、読者の注意を引けるかは難しい。マニアック過ぎてドン引かれるのも困るし、かと言って簡単すぎてつまらないのもいただけない。しかしながら、こういった悩みは※4 普段から対処しているので、その件についても得意げにいこうと思う。



## 乗り鉄の先生

数学の講師なので、定義は大事にしたい。定義がなければ不毛な議論になりかねない。なので、乗り鉄の定義をしてみようと思う。言葉からすれば鉄道に乗るのが好きな人ということになりそうだが、乗るのが好きだからと言って、皆が皆自身を乗り鉄だなどと認識してはいないはずである。ゆえに、この定義は適さない。

数学では、先人の知恵を借りることもまた重要である。かつて、※5内田百閒先生は『特別阿房列車』という作品の冒頭でこう述べた。「阿房と云ふのは、人の思はくに調子を合はせてさう云ふだけの話で、自分で



勿論阿房だなどと考へてはゑない。用事がなければどこへも行ってはいけないと云ふわけではない。何にも用事がないけれど、汽車に乗つて大阪へ行つてこようと思ふ。」用事はないが鉄道に乗るといふ用事がある、まさに乗り鉄の本質であり、乗り鉄の定義をもってこいだと思う。さすが元祖鉄オタと呼ばれるだけの百閒先生である。私自身はこの定義に当てはまるだろうかと考えたとき、

たしかに思い当たるフシがたくさんある。せっかくなのでZ会からの帰り道の話をしてみたいと思う。

祖師谷教室は小田急祖師谷駅が最寄り駅であり、小田急と言えば※6ロマンスカーである。そしてロマンスカーは日に数本東京メトロ直通の列車がある。これは乗りたい。乗りたいが、祖師谷駅には止まらない。調べてみると、帰り道と反対の1個隣、成城学園前駅にとまることがわかった。そうなれば、戻る以外には考えられない。家から遠くなろうとメトロはこね号にどうしても乗りたい。だからある日乗りに行った。楽しかった。

立川教室の最寄り駅はJR中央線立川駅である。中央線といえば※7特急あずさ号だが、新宿から立川までのつたところ物足りない。ところが、立川駅からは日に1本千葉行きのあずさ号と※8成田エクスプレスに乗ることができる。これはやはり乗るしか無い。ただやはり問題がある。千葉行きのあずさ号は、その当時住んでいた（大きな駅で）最寄りの東京駅に止まらない。総武線を御茶ノ水から秋葉原方面に行き、新宿の次は錦糸町にとまる。錦糸町ではまた家から遠くなる。遠くなるが、先に述べた御茶ノ水から錦糸町まで特急型車両に乗れるのは、このあずさ号以外では臨時列車以外存在しない。これは乗るしか無い。また、成田エクスプレスは東京駅にはとまるがそもそも料金が安い。実は特急料金には少し高めめのA特急料金と比較的安いB特急料金があるが、残念ながら成田エクスプレスはA特急料金を徴収される。しかも指定席料金まで取られる。痛い出費だが、これも又珍しい経路を通る。運用の都合上必ず東京駅を通らなければならないため、新宿から総武線では東京駅に停車できない。そこで新宿からは湘南新宿ラインを通して大崎方面に向かい、そこから山手線に沿うように品川方面、そして東京駅地下総武ホームに到達する。かなりマニアックである。遠回りになるので普通はこんな経路で新宿東京間を移動することはないからだ。とまあ、色々あるが結局どちらも乗ってみた。とくに成田エクスプレスはそこまで出すならと駅弁とビールも買って乗った。帰り道が至福のひとつときに変わった瞬間だった。

このように乗ることが目的である旅は他にも色々あるのだが、紙面の都合上このくらいにしておこうと思う。ただ、鉄道に乗ることが目的、それが鉄オタであるということは十二分に伝わったのではないだろうか。



おわりに

乗り鉄以外の話もしたかったが、これ以上書くのはしんどいし、読者も疲れそうなのでやめておこうと思う。ちなみに、連載でもいいですよとか言われたがまっぴらゴメンだとこの場を借りて言うておく。なので、さらに深く話が聞きたい者は直接聞きに来てほしい。私は日曜日の葛西教室にいます。

※0 日常の中の非日常：逆も又人生を楽しむ秘訣である。非日常の日常化。自分の人生は自分で作るものです。

※1 シュッとした：関西弁。スマートな、とかそういったたぐいの意味。[用法]「あの服シュッととしてええわ〜」

※2 飲み屋：「酒は飲んでも飲まれるな」とはよく言ったもので、数学のアクロバティックな式変形と同様、先人の知恵は学ぶものである。

※3 職業柄：塾講師は得意気に話せてなんぼだと思っている。ではどうやったら得意げにできるか。答えは簡単、知らないこと限りなく0に近づければ良い。ちなみに試験前の不安を打ち消す唯一の方法がコレ。知らないことをなくせば不安など湧いてこない。極論だが真実である。

※4 普段から対処：授業をするからにはどう授業するか予習が必要で、同じ内容でも生徒諸君のレベルに合わせて教え方が異なってくる。レベルに合わせて簡単すぎず難しすぎずな授業を心がけている。なお“人に教える”とは、“自分の理解の押しつけではなく、自分の理解を相手に合わせてカスタマイズしたものを提供すること”だと思っている。

※5 内田百閒：元祖鉄オタ・猫好きの頑固おやじ。夏目漱石門下で、芥川龍之介は後輩。鉄道紀行文とされる特別阿房列車は、誌面の大半を旅行に出発する前のシーン（特にお金の工面）に割り、東京から大阪に行って帰るシーンが2ページ程度という秀逸ぶり。

※6 ロマンズカー：今年の春にデビューした GSE(70000 系)はかっこいいうえに窓が大きくて眺望が良い。ついこの前乗ったが感動した。ちなみに見かけはダサいが EXE(30000 系)の座席は座り心地がいいので仕事帰りなんかはコチラがオススメ。

※7 特急あずさ号：コチラも今年の春に E353 系という車両が登場したが、いままでの車両のように揺れがなく乗り心地が素晴らしい。ちなみにデビューしてすぐに新宿から立川までグリーン車に乗った。

※8 成田エクスプレス：成田空港に行く場合、JR の成田エクスプレスが京成電鉄のスカイライナーが非常に迷うところである。ちなみに上野始発なので利便性がよろしくはないが、スカイライナーの在来線最速 160km/h 運転は素晴らしい。

3月25日(日)に開催しました「卒業パーティ」の様子です。  
葛西の受験生は本当によく学び、そして、にこやかに巣立っていきました。  
みんなのこと、これからもずっと応援しています。またお会いしましょうね。



月	日	曜	受付時間	授業・テスト・模試など				保護者会・研究会など		
5	1	火		休室						
	2	水		休室						
	3	木		休室						
	4	金		休室						
	5	土	12 ~ 22	休講日						
	6	日	9 ~ 20	5月度①		2V 4月度 月例テスト		1V 4月度 月例テスト		
	7	月	14 ~ 22							
	8	火	14 ~ 22							
	9	水	14 ~ 22							
	10	木		休室						
	11	金	14 ~ 22							
	12	土	12 ~ 22							
	13	日	10 ~ 20	5月度②						
	14	月	14 ~ 22							
	15	火	14 ~ 22							
	16	水	14 ~ 22							
	17	木		休室						
	18	金	14 ~ 22							
	19	土	9 ~ 22						10:00~12:00 6K 保護者会	
	20	日	9 ~ 20	5月度③						
	21	月	14 ~ 22							
	22	火	14 ~ 22							
	23	水	14 ~ 22							
	24	木		休室						
	25	金	14 ~ 22							
	26	土	9 ~ 22						10:00~12:00 2V 保護者会	
	27	日	9 ~ 20	6月度①	3K 5月度 月例テスト	2V 5月度 月例テスト	2K 5月度 月例テスト	1V 5月度 月例テスト		
	28	月	14 ~ 22							
	29	火	14 ~ 22							
	30	水	14 ~ 22							
	31	木		休室						
6	1	金	14 ~ 22							
	2	土	9 ~ 22					10:00~12:00 1V 保護者会		
	3	日	9 ~ 20					9:30~12:00 3K 保護者会		

**Z会の教室**

〒134-0084 江戸川区東葛西 6-2-3 第三須三ビル 6階 TEL03-5878-0844

**Z会進学教室 葛西教室** 受付時間 平日 14:00~22:00 日曜日 10:00~20:00 休室日 木曜日

『葛西通信』の記事（バックナンバー）は Web からもご覧いただけます。

**Z会 葛西** 検索